

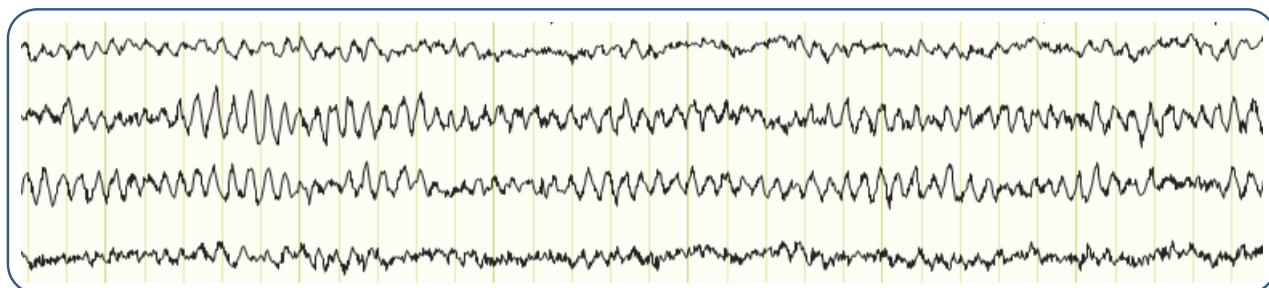


## 1.はじめに

生理機能検査室では、心電図検査や呼吸機能検査など様々な検査をしています。今回はその中の一つ、脳波検査についてお話しします。

## 2.脳波検査とは

今からちょうど100年前、人間の脳から小さな電気が出ていることが発見されました。その小ささは100万倍に大きくしないと記録できないほどです。脳波検査はその電気を記録することで脳の機能をみる検査です。意識障害や、てんかん等の診断のために活躍しています。



↑ 脳波の波形（アルファ波）

## 3.検査のやり方

脳波検査は、約70～90分かかります。検査の前にお手洗いなどは済ましてからいらしてください。

脳の全体からまんべんなく電気を拾うため、19個の電極(電気を拾うための銀板)を頭皮に付けます。このとき頭皮にしっかり密着するようにペーストを使って貼り付けていきます。準備が終わったらベッドに仰向けに横たわって検査を始めます。

検査中、患者さんの基本の姿勢としては

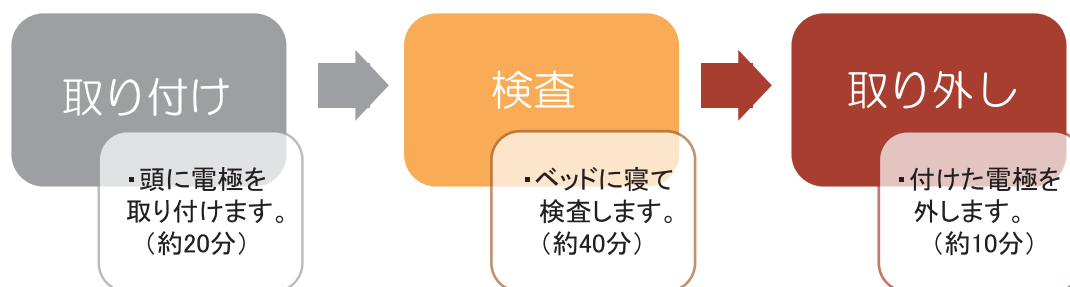
- ・目を閉じる
- ・力を抜いてリラックス
- ・寝ない

ことが重要です。



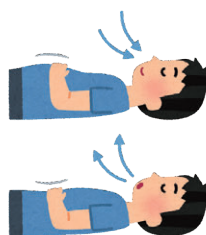


先述したように脳からの電気はとても小さいため、緊張したり、寝入ったりしてしまうと目的の脳波がとれなくなってしまうます。リラックスして検査に臨むようお願いいたします。また、お部屋の温度や明るさなど患者さんが楽にできるように調節いたしますのでお申し付けください。



検査が始まると、検査技師がいろいろなお願いをします。それによって脳波がどう変化するか見るためです。例えば、

- ・目を開けたり閉じたり
- ・頭の上で光を点滅させたり
- ・過呼吸をしたり
- ・20分ほど眠ったり



していただきます。

もしご気分が悪くなったりしたらすぐおっしゃってください。

#### 4.Q&A

**Q** 痛い検査ですか

**A** 痛いことはしません。ですが、時間がかかる検査なので、姿勢など辛いことがありましたらお申し付けください。

**Q** 電気を流されますか

**A** 電気は流しません。脳から出ている電気を拾うのみの検査になります。

**Q** 仰向けで寝るのがつらいのですが

**A** 仰向け以外で行うことができる場合もございます。柔軟に対応しますのでお申し付けください。

**Q** ペーストは特別な除去液が必要ですか

**A** 必要ありません。水でとれるペーストを使用しています。もしペーストが残ってしまった場合はお風呂で洗い流していただくようお願いいたします。

